

宇部・小野田医療圏地域医療構想調整会議
(令和6年度第2回) 議事概要

【日 時】 令和7年2月3日(月) 19:00~20:10

【開催方法】 オンライン開催

【出席者】 出席者名簿のとおり

【議事内容】

- 紹介受診重点医療機関の選定について協議し、5つの医療機関を継続して選定した。
- 小野田赤十字病院の病床機能再編支援事業に係る単独病床機能再編計画及び地域医療構想の達成に向けた対応方針の変更について協議を行い、合意した。
- セントヒル病院及び美祢市立病院の対応方針の変更について協議を行い、合意した。
- モデル推進区域の取組を進めるため、地域での議論を踏まえ、救急医療に関する医療機関の役割の明確化や連携強化を図ることを柱とした区域対応方針を策定することについて協議を行い、合意した。

1 令和6年度地域医療構想調整会議の進め方について

県医療政策課から、紹介受診重点医療機関の選定について説明を行った。

協議の結果、山口宇部医療センター、山口大学医学部附属病院、宇部中央病院、山口労災病院及び山陽小野田市民病院を継続して選定した。

(主な意見・質問等)

特に意見・質問等はなし。

2 病床機能再編支援事業について(小野田赤十字病院)

令和6年度及び7年度の病床機能再編支援事業の実施を希望した小野田赤十字病院から、単独病床機能再編計画及び2025プランの変更について、説明を行った。

小野田赤十字病院の計画では、地域の医療機関との役割分担を踏まえ、慢性期病床を廃止するとともに、一部を圏域で不足している回復期病床へ転換することが示された。

協議の結果、単独病床機能再編計画及び対応方針の変更について合意した。

(主な意見・質問等)

特に意見、質問等はなし。

3 対応方針（2025 プラン）の変更について（セントヒル病院及び美祢市立病院）

セントヒル病院から、新病院建設の再検討に伴い、病床機能の再編計画を見直し、急性期病床は一部を回復期病床へ転換し、慢性期病床は現状維持とすることについて説明を行った。

美祢市立病院から、限られた医療資源を最大限効率的に活用し、持続可能な地域医療提供体制を確保するため、急性期の病床数を削減することについて説明を行った。

協議の結果、これらの対応方針の変更について合意した。

（主な意見・質問等）

特に意見、質問等はなし。

4 モデル推進区域に関する区域対応方針の策定について

県医療政策課から、当圏域での救急医療体制の維持確保等に向けた取組の状況や課題について報告するとともに、地域での議論を踏まえ、救急医療に関する医療機関の役割・機能の明確化や連携強化を図ることを柱とした区域対応方針を策定することを説明し、合意した。

また、区域対応方針に基づき、医療機関が行う対応方針の検証・見直しの進め方について説明を行った。

（主な意見・質問等）

○ 医療機関は、対応方針の検証・見直しに併せて、今年度末までに救急医療に関する自院の役割・機能を報告することとされているが、現在、関係者間で救急医療体制の見直しを検討している状況であり、報告できる段階ではないのではないか。

⇒ 各医療機関の役割・機能について、圏域全体で共有し、下り搬送の効率化等の医療機関間の連携に関する取組を促進することが目的であり、現時点の状況を踏まえ、いったん報告していただきたい。なお、救急医療体制の見直しに係る検討の進捗状況に応じ、随時、今回の報告の見直しを行っていただくこととしている。

5 新たな地域医療構想に関する国の検討状況について

県医療政策課から、国が公表した「新たな地域医療構想に関するとりまとめ」について説明を行った。

（主な意見・質問等）

特に意見、質問等はなし。

6 かかりつけ医機能報告制度について

県医療政策課から、令和7年4月から施行される、かかりつけ医機能報告制度について説明を行った。

(主な意見・質問等)

特に意見、質問等はなし。

7 山口県外来医療計画に係る報告について

宇部健康福祉センターから、山口県外来医療計画に基づき提出された「医療機器の共同利用計画」について報告を行った。

(主な意見・質問等)

特に意見、質問等はなし。

8 令和7年度調整会議のスケジュールについて

県医療政策課から、令和7年度調整会議の開催スケジュールについて説明を行った。

(主な意見・質問等)

特に意見、質問等はなし。